

SUITASI



母と家族で歩んだ

『在宅看取り』

～家で最期まで生きるという選択～

令和7年度吹田市地域医療推進市民講演会



プロフィール

谷本 かおり

tanimoto kaori

介護業界で25年勤める。

介護福祉士と介護支援専門員(ケアマネージャー)の資格を持つ。

母の介護を機に介護離職をして、在宅看取りの覚悟を決める。



目次



- 01** 母の病気の始まり
- 02** 自宅で過ごすという選択
- 03** 介護・医療チーム結成と奇跡のような時間
- 04** 母の希望と叶わなかった約束
- 05** 最後の時そして遺された家族へのグリーフケア

母の病気の始まり

01



01

母の病気の始まり

2019年9月不正出血から始まる

- 1 2007年8月 統合失調症発症
- 2 2014年2月 統合失調症再発
- 3 2019年10月 高悪性度子宮内膜間質肉腫
- 4 2020年8月 アドリアマイシン心筋症
- 5 2020年9月 余命2週間で自宅へ
- 6 2022年1月 アドリアマイシン心筋症により虹の橋を渡る

02

自宅で過ごすという選択



人生会議は大切

- 1 入院中何度も命の危険があった
- 2 延命治療は不要であると母から聞いていたので、
延命はしないという同意書にすぐサインできた
- 3 父や弟と意思統一できていたので、キーパーソンの
私は迷いなく、色々なことを決断できた
- 4 母の『死に向かって生ききる』姿を家族みんなで
伴走することができた



03

介護・医療チーム結成と奇跡のよ うな時間



介護・医療チームの編成

本人、家族、介護支援専門員(ケアマネ)、訪問介護、福祉用具貸与
訪問看護、訪問リハビリ、訪問入浴 医師(3名)、管理栄養士

- ・ 11月の70歳の誕生日は迎えられないと言われたが迎えられた
- ・ お正月は難しいと言われたがおせち料理を食べることができた
- ・ 桜は見ることはできないと言われていたが見ることができた
- ・ 5回位『覚悟してください』と言われたがその都度復活を遂げた
- ・ 余命2週間と宣告されてから1年5ヶ月頑張ってくれた

母の希望と叶わなかった約束



04

04

母の希望と叶わなかった約束

母の希望

お父さんの腕の中で二人きりの時に死にたい

叶わなかった約束

100歳の『お母ちゃん』に会いたい

05

最期の時そして遺された家族のグリーフケア



05

最期の時そして遺された家族のグリーフケア

2022年1月30日

午後8時20分虹の橋を渡る

遺された家族の心には
深い想いが残る
死後の心のケアが必要

THANK YOU!

ありがとうございました